

2024 年度 生徒アンケート報告

2024 年度の生徒アンケート実施結果を報告します。

1. 調査の目的

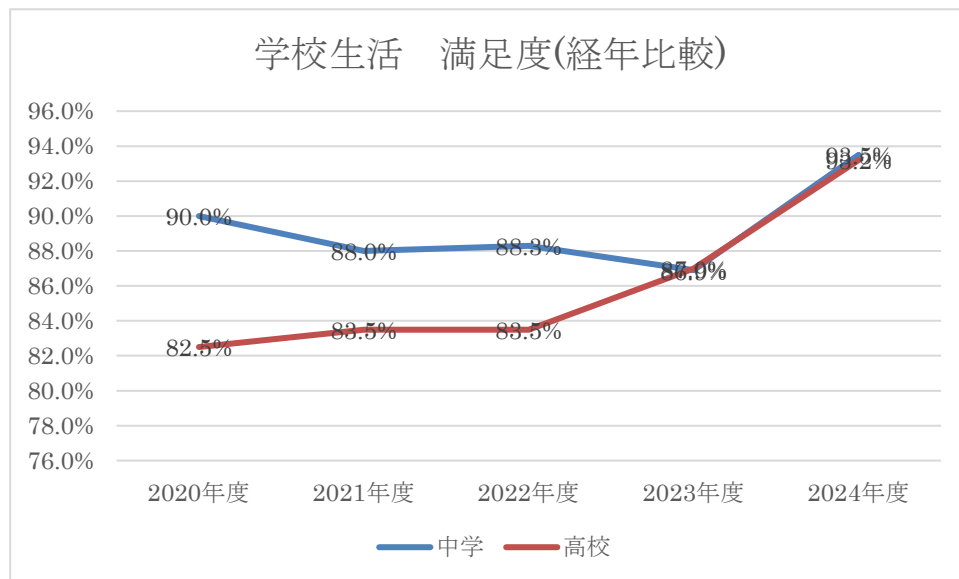
1. 授業強化の一連の取り組みの成果を見る。
2. 今後の学校力向上に向けた課題抽出のための基礎資料とする。

2. 実施日と実施方法

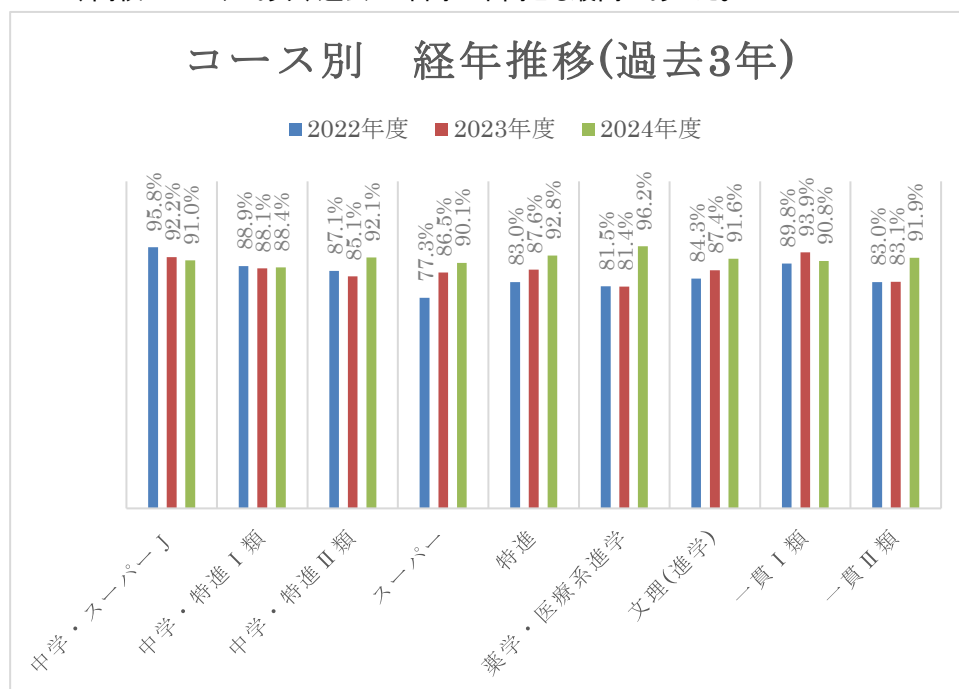
2025 年 1 月 21 日(高校 3 年生)、2 月 28 日(高校 1、2 年生、中学生)に実施しました(今年度から初めて、Webアンケート形式で実施)。回収件数は 2103 件(93.3%)(2023 年度は 2243 件(95.0%))でした。

3. 結果報告

- ①「普段の学校生活(授業や部活動などすべてを含む)」について、総合的にどの程度、満足できていますか」
「満足」+「まあ満足」の合計

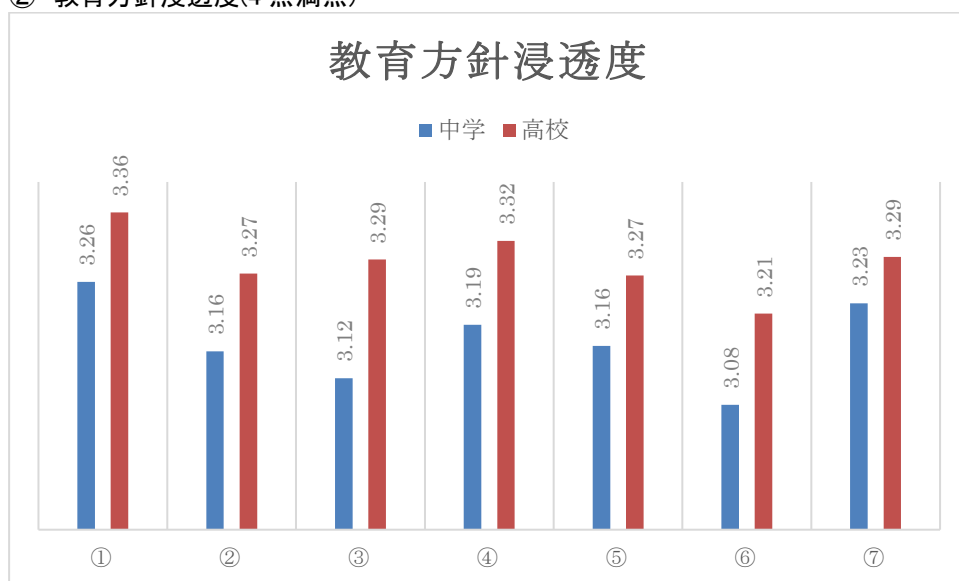


2024 年度 中学 93.5%、高校 93.2%(2023 年度以前は「入学後の満足度」を聞く問いであったが、2023 年度は中学 87.0%、高校 86.9%)であり、過去 5 年間で中高とも最高であった。



中高各コースとも満足度が高水準である。スーパー、特進、文理(進学)はいずれも値が年々上昇している。中学・スーパーJについては、2024 年度が完成年度であるので、今後を注目したい。

② 教育方針浸透度(4 点満点)



- ①学校行事や課外活動を通じ、社会のルールやマナーについて学ぶことができる
- ②体験学習や総合的な学習の時間などを通じ、社会の問題を自分事として考えることができる
- ③体験学習や総合的な学習の時間などを通じ、自分の進路について考えることができる
- ④学校行事や課外活動では、積極的に周囲の友人や先生とコミュニケーションをとりながら取り組むことができる
- ⑤体験学習や総合的な学習の時間、学校行事などを通じ、自分の可能性を広げることができる
- ⑥体験学習や総合的な学習の時間、学校行事での経験をふり返り、次の課題を設定することができる
- ⑦学校行事や課外活動で難しい課題に直面した時に、自分なりに工夫をして課題を乗り越えようとしている

いずれの項目においても、中学生より高校生の方が、得点が高い。①「学校行事や課外活動を通じ、社会のルールやマナーについて学ぶことができる」 および⑦「学校行事や課外活動で難しい課題に直面した時に、自分なりに工夫をして課題を乗り越えようとしている」については、中高いずれも得点が高い。